



春日部ロイヤルケアセンター

IMSグループ 介護老人保健施設

令和7年3・4月号

地域とともにあります、真心の介護をご提供いたします。

# ロイヤル便り

KASUKABE ROYAL CARE CENTER



## たくさんの笑顔を～私の自慢の家族～

デイケアで“夢”をかなえる人—— 今回は政清 裕子さん(54歳)(以下「裕子さん」)をご紹介します。 裕子さんは、ご主人(克之さん)と3人のお子さん(息子さん、2人の娘さん)と5人家族です。以前は、訪問介護の管理職として働いていました。令和2年9月(49歳の時)、職場でお昼を食べている時“ふわーっ”と意識が遠のき、倒れてしまいます。周りの人に助けを求めるようとしても声が出ませんでした。気付いた時には病院のベッドの上。どのくらいの時間が経ったか、自分がどこにいるかさえも分かりませんでした。病名は「脳出血」でした。

病院にて保存的加療(出血を広げないように手術はせず 薬などで治療する方法)を続けましたが、右半身の麻痺と失語症、高次脳機能障害を発症。入院から10日後、リハビリを開始。発語の練習や、関節や筋力を強化するリハビリを行いました。

世の中はコロナ渦だったため面会ができず、家族への連絡は看護師からの電話のみ。「点滴が取れた」「リハビリを開始した」の情報に一喜一憂。お互いの顔が見えない中、本人もご家族も不安が大きかったそうです。その後、病院・施設でのリハビリを続け、自宅に帰れたのは10ヵ月後の令和3年7月でした。

その翌月 令和3年8月から、リハビリを続けるために、ロイヤルのデイケアへと通うことになりました。

通い始めた当初、送迎は車いすを使用。歩行する時は介護スタッフが付き添っていました。言葉の障害が残り、言葉を発したり 理解する事にも時間を要する状態でした。ロイヤルではリハビリ(理学療法、作業療法、言語療法)を繰り返し続けたり、自主的な運動にも取り組みました。200~300mの距離の歩行や、マシンを使った運動・マッサージ、階段昇降の運動もを行い、身体・言葉の訓練を続けてきました。その努力の成果として、令和5年頃から、送迎車にも自分の足で乗り降りできるようになりました。言葉もはっきりと出てくるようになりました。現在では、4点杖を使って付き添いなしの歩行ができ、送迎車の助手席に乗ることもできるようになりました。



右半身に麻痺がありますが、手作業や手芸にも取り組んでいます。デイケアの「乙女クラブ」に参加し、折り紙やちぎり絵、季節の装飾飾り(クリスマスリース飾り、お正月の羽子板飾りなど)を作ったり、和紙工芸を作ったり、たくさんの「ものづくり」に参加しています。最近では小さなビーズ(0.25cm)を1つ1つ置いて絵を完成させる「ダイアモンドアート」にチャレンジしています。裕子さんのご自宅は、美術館のように数多くの作品が飾られています。

裕子さんを動かす原動力、元気の源は何か——。それは“ご家族”です。

一緒に暮らす2人の娘さん(莉菜さん、茉菜さん)は、まだ20代。年頃の素敵な娘さんですが、母親に対する優しさにあふれています。夕飯は莉菜さんが作ってくれたり、裕子さんが料理をする時には一緒にキッチンに立ってくれたり、家族全員で北海道旅行に行ったり、障害を抱える裕子さんを、さりげなく、それでいてしっかりとサポートしてくれています。裕子さんも、その優しさに応えるように、リハビリに積極的に励んでいます。裕子さんは、ご家族の話をする時(受験の話・引っ越しの話・旅行の話など)、とても嬉しそうに話します。家族との会話・思い出話は、言葉の訓練にもなっていると感じます。裕子さん一家の“あたたかい家族の愛”が、裕子さんをここまで元気にしたのだと感じます。



裕子さんが自分の将来・夢について語ってくれました。

「本当は病気の前のように自由な身体に戻りたい。でも無理だと思う…。それでも、私はつらくない。家族が支えてくれるから。今は家族がいてくれる事が幸せ。そしてこれから望むことは、息子・娘2人が幸せになってくれること。それが私の幸せになるの」と話してくれました。

これからも、裕子さんの素敵な笑顔・ご家族の幸せのために、私たちデイケアスタッフもサポートしていきます。

これからも一緒に  
たくさんチャレンジしましょうね！



## ★リハビリ科★『年明けから笑顔で元気に！！』

厳しい寒さがつづいておりますが、デイケア内は毎日“活気・運動・笑い”で盛り上がっております！ 今回は、毎年恒例『お正月ゲーム大会』のご報告です。「羽子板」「福笑い」など皆様 馴染み深いゲームを楽しみました。特に「福笑い」では、みなさんのユニークな作品に笑いを誘われ、全員で大笑い😊😊

実は、この「福笑い」リハビリとして行っています。ゲームにも運動機能、反射神経、想像力を養うという効果があるんです！ さらに「笑うこと」は、認知機能低下を予防する効果があるそうです。みんなで笑えば、より効果バツグンです！！ まさに『笑う門には福来る』ですね😊



### 職員紹介のコーナー

|    |       |      |       |     |           |
|----|-------|------|-------|-----|-----------|
| 氏名 | 井畠 優希 | フロア名 | 事務所   | 職種名 | 医事課(介護事務) |
| 出身 | 越谷市   | 星座   | おひつじ座 | 血液型 | O型        |

年齢 22歳

この仕事を選んだ理由 高校生で進路に迷っている時に、医療事務を10年以上続ける知り合いから、「患者様からの『ありがとう』や、笑顔で帰っていく姿はやりがいを感じるよ」と勧められ、医療事務の仕事に就きました。ロイヤルの前は病院で働きましたが、事務職員は「受付」なので、常に笑顔でいる事が大切だと学びました。知り合いが言っていたように、やりがいを感じることもできました。ロイヤルに異動して1年になりますが、病院で得た経験をロイヤルでも活かして頑張りたいです。

趣味 ①誰かと一緒に出かける…一人になる時間が苦手なので、友達と旅行、カラオケ、飲み会などに行っています。最近はサウナにハマっていて東京、埼玉にあるスパに身体を癒やしに行っています。

②麺を食べる…月10回以上はラーメン屋に行きます。家系ラーメンが好きで、越谷にある平九郎と上尾らあめんによく行きます。周囲に止められるほど大食いで、ラーメンに加え、チャーハン・餃子も完食します🍴

③音楽を聞く…ヒップホップのアーティスト yellow Bucks(イエローバックス)、KEIJIU、が好きです。音楽フェスにも良く行きます。

④犬の散歩…サンちゃん(トイプードル 6歳)を飼っていて、毎日散歩に連れて行っては、癒やされています。

### お知らせ と お願い

当施設には、数名の外国人留学生などが在籍し、介護の仕事に従事しております。

まだまだ日本語が未熟で、伝わりにくい部分もありますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

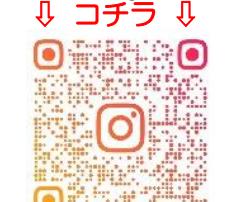
また、一生懸命頑張っている彼女たちを、あたたかく応援していただけると幸いです。

過去の「ロイヤル便り」は

ロイヤル便りへの  
要望・アンケートは  
↓ コチラ ↓



インスタグラムは  
Instagram  
↓ コチラ ↓



## ♠ 1Fフロア ♠ 『クリスマス会を楽しみました』

本来、前号（1・2月号）で報告する予定だった「クリスマス会」ですが、コロナの影響で報告が遅れてしまいました。今号で報告させていただきます

クリスマス会を、12月に行いました。サンタクロースがフロアに登場しますが、なにやら怪しげな動き…。あちこち動き回り、すみっこのはうでゴソゴソ・ガサガサ…。利用者様も、「あれ、サンタさんじゃない？」と気づき始めますが、なかなか近くに来ないサンタに苦笑い…。

しばらく待っていると、サンタクロースがプレゼントを持って、一人ひとりに声掛けして回ります。プレゼントの中身は『ひざ掛け』。あたたかいプレゼントに、利用者様もホッコリ満面の笑顔になりました。サプライズ大成功とばかりに、サンタクロースは満足気に帰っていましたとさ…。

しかし、あのメガネをかけたサンタクロース、誰だったのでしようか…？

まだまだ寒さが続きます。スタッフ一同、体調管理には注意を払い、皆様が元気に過ごせるよう注意しています。



## ◆2Fフロア◆ 『開運！？ 親子ヘビの貼り絵！！』

12月下旬、新年を迎える前に、飾りつけの準備として貼り絵を行いました。

何も聞かされず 作業場のテーブルに集められた方々は、折り紙と、下絵が書かれた模造紙を前に不安顔。「折り紙を折るの？」「この紙(下絵)に何が描いてあるの？」とザワザワ…。スタッフから貼り絵をすることを説明され、納得した様子。続いて、折り紙をちぎるチーム、ちぎった紙を貼るチームに分かれます。

そして いよいよ作業開始！真剣に作業に取り掛かります。「緑色の折り紙、もっと持ってきて」「その隙間に、しっかり貼って」「もっと細かくちぎって」など、スタッフや他のチームに対しての指示が飛びこむ…。昔話に花が咲く方、笑顔で取り組む方、芸術に目覚め出来栄えを気にする方、それぞれの個性で作業に取り組みました。

次第に絵が完成に近づくと、「これはヘビか！」「じゃあ来年は巳年だね」と来る年に思いを馳せていました。

完成した貼り絵を壁に貼り 記念撮影。それを見た方々は「可愛いヘビちゃんね」「このSNAKEって何て読むの？」と盛り上がっていました。

ヘビは『幸運の象徴』 2025年が皆様にとって幸多い年になりますように♪



## フロアより 活動報告

## ♣ 3Fフロア ♣ 『節分』

皆さんこんにちは。寒い日が続いておりますがどうお過ごしでしょうか？

「2月は節分」ということで、3階フロアでは豆まきを行いました。

豆のかわりに、玉入れの玉を利用者様に渡します。全員で「鬼は外！福は内！」と叫ぶと、鬼が登場（鬼はなぜか力ゴを引きずっています…）。さらに「鬼は外！福は内！」と続けると、鬼は力ゴを引っ張って利用者様の前をグルグル回ります。利用者様は、その力ゴめがけて玉を投げ入れます。

動き回る鬼と力ゴに、玉はなかなか入りません。「これじゃ、福が来ない」と残念がる声が多く、急きょルール変更。逃げる鬼に直接玉をぶつける事になりました。鬼をやっつけたいのか、スタッフへの恨みがあるのか、福を願ってなのか、玉を投げる力にも、掛け声にも自然に力が入ります。

終了後は、「ほんとに楽しかった」とスッキリ笑顔の利用者様と、グッタリ疲れた鬼の姿がありました。これからも、様々な行事・イベントをしていきたいと思います！



## ♥ディケアフロア♥ 『年末・年始の過ごし方ー！！』

2月になりました！中庭の蝋梅もつぼみを付けて咲き始めました。

今回はちょっと時を戻しまして、年末年始のディケアの様子をお伝えします。ディケアは年末の営業を12月31日の大晦日まで行い、新年は1月4日から行いました！「大晦日の営業は大変」との声もありましたが、私たちの想いは一つ『大晦日にお風呂に入って新しい年を迎えてほしい』ただそれだけでした。

入浴を特別仕様にして、年末は「ゆず風呂」、新年は「イチゴの湯」をご提供。おやつも、年末は「白玉入りおしるこ」、新年は「甘酒」をご用意して、一年の終わりと新年の始まりを皆さんと一緒に楽しみました(白玉入りおしるこは、利用者様と一緒に作りました！)

おかげさまで、両日ともたくさんの利用者様にご利用いただき、「1年で一番盛り上がった！」と、笑顔いっぱいのディケアになりました。ご家族様からも「入浴ありがたい」「おかげで、年末に買い物ができた」と喜んで頂くことができました。これからもディケアは『利用者様・ご家族様ファースト』を心がけます。皆様の声・要望を大事にしながら、皆様の在宅生活を支えていきます。やりたいこと・やってほしいがあれば、ぜひスタッフにお声掛け下さい。

